

平成 29 年度 第 1 回伊豆市教育振興審議会 会議録

開催日時 平成 29 年 8 月 30 日（水）午後 7 時 30 分～午後 9 時 5 分

開催場所 伊豆市役所 別館 2F 大会議室

出席委員 菊地篤子委員、澤木育子委員、鈴木和仁委員、鈴木浩二委員、鈴木洋一委員、金子歩美委員、石井美香委員、井澤彩香委員、原勝也委員、鈴木千秋委員、小笠原茂委員、藤江康彦臨時委員、菊池之利臨時委員【13 名】

欠席委員 勝呂義衛委員【1 名】

事務局 西井教育長、金刺教育部長、菊地統括監、城所教育総務課長、若月指導主事、鈴木主任

1 開会

ただいまより第 1 回伊豆市教育振興審議会を開会します。

2 委員委嘱

教育長より委員各位へ委嘱状の交付が行われた。

3 教育長挨拶

伊豆市教育委員会では、第 2 次再編計画に基づき進めていたところだが、今現在白紙撤回状態であるので、皆さんにお集まりいただいた。ゼロベースから伊豆市の子ども達、主に中学生にとってどういう教育環境が一番良いのか。そして昨年生まれた子ども達が 12 年たつと中学生になります。そういう意味では、10 年後、20 年後を見据えて、伊豆市の中学生の教育環境を皆さんにご審議願いたい。

（委員各自自己紹介）

4 会長・副会長の選出

事務局

伊豆市教育振興審議会条例第 4 条の 2 に基づき、会長、副会長の選出を依頼。

委員

事務局に案があったらお願いしたい。

事務局

事務局からの案ということで審議をお願いします。有識者で委員をお願いした『菊地篤子委員』をと考えている。

菊地委員は、伊豆市の特別支援教育コーディネーターとして市内の小中学校の現場で特別支援教育に携わったご経験もあり、伊豆市の教育現場に通じております。

また、市内の小中学校の先生方にも『こどもの生活を作る礎』として学校現場と家庭のあり方についてご講演をいただくなど、伊豆市の学校教育や子育て支援全般に幅広く様々なご提案やご助言をいただいている。こうしたことから、会長をお願いできればと思う。

副会長ですが、市民を代表する伊豆市区長会長である勝呂義衛様をお願いできればと考えている。なお、本日地区の定例区会があり、勝呂様は欠席であるが、事務局より候補者としてご提案すること、委員のご承認がいただければ副会長をお受けすることにつきましては、ご了解をいただいている。

以上が事務局案です。ご審議よろしく申し上げます。

事務局

只今、事務局から会長に菊地篤子委員、副会長に勝呂義衛委員を推薦するという案の報告ですが、よろしいでしょうか。

よろしければ、拍手をお願いします。【拍手多数】

菊地篤子委員の会長、勝呂義衛委員の副会長の選任について、決定、承認された。

5 会長挨拶

このお話をいただき、様々な立場から意見を伺う場であり、自分もその場に参加できると前向きに捉えていきたいと考えた。できれば、この会としての意見が一つにまとまることを願っている。

多数決で決まるのではなくて、ここにいる委員の皆さんの総意ということで決まることが望ましい姿なのではないかと、そこを目指していきたいと思う。

中学校のあり方を考えるという時に、ここにはいない中学生、こどもが主役。主役がいない中でこれを考えるというのは、すごく責任があると思います。私たちは、環境を整えてあげたいと思っている大人である。我々は主役のこども達の生活を支える立場であり、支えるということを主体的にできる大人でありたいと思っている。未来に向けて濃密な会になることを目指していきたいと思う。

ご協力をよろしく申し上げます。

6 諮問について (事務局) : 資料 3 ページに沿って説明。(請願書は、資料 5 頁) (質問なし)

会議の成立について（事務局）

本日の会議は、14名中13名出席であり、伊豆市教育振興審議会条例第5条の2により会議は成立した。との報告。

7 協議

（1）学校教育の現状と課題について：事務局：資料6・7・8ページ説明。

8ページの生徒数については、3地区の出生者数から推計を出している。

部活動では、合同で行っている部もある。天城地区、中伊豆地区から部活動を理由に修善寺中へ通っている生徒がいる。

施設の状況については、7ページ。

事務局：各中学校経営書に沿って説明。

事務局

今のままでいくと、平成35年度以降は3校ともクラス数が減っていく。

委員

天城中3年生40人で2クラスとなっているが。

事務局

現在の学級編制の基準は40人1クラス、41人で2クラスであるが、静岡式35人学級編制となっているため、弾力化加配で県からの措置で2クラスになっている。

会長

修善寺中の築33年が新しいと感じる。なかなか老朽化が進んでいる。物的環境、ハード面の説明はいただいたところですが、人的環境について何かあるか。

また、追々意見を出してもらいたい。

（2）今後のスケジュールについて：事務局：資料9ページに沿って説明。

来年5月末の答申策定を目標にしている。

資料にある開催日、協議内容はあくまでも案であるのでご承知ください。

2回目は老朽化が進んでいるという指摘がありましたので、実際に学校見学をしていただくことも必要なのではないかということで、学校見学を予定している。

そうすると、こども達がいる時間で短い時間で学校を見ていただくということで、日中の午前中を考えている。

[中学校施設見学について]

会長

中学校の見学をするかどうか。半日で3校回るのか。

事務局

その予定です。

会長

まずは見学をしたいかどうか。するべきかどうかを検討したい。

委員

仕事をしているので日中に予定をいれられても対応が難しいというのが正直なところである。委員を受けた以上責任を持って臨みたいので、できれば毎回出席しようと思っている。

そのようなところも考慮していただいて、日時の設定をお願いしたい。欠席でいいのであれば、委員になった意味がない。こども達の教育状況の見学でなく、施設の見学であれば夜でも良いと思う。

会長

施設の見学をするのか。学校の見学をするのか。

委員

学校教育の現状と課題ということであるならば、見学を施設なのか学校教育そのものなのかを検討した方がいい。施設ということであれば、鈴木委員の言ったとおりで皆さんが参加できる方がいいが、学校教育の現状と課題ということになるともう少し検討した方がいいと思う。

委員

こどもが小学生で中学校の実際の現状がわからないので、わからないからこそ中学校を見てみたいという気持ちはある。ただいけるかということ、仕事をしているので難しいが、見てみたいという気持ちはある。

委員

仕事をもっているので、できれば夜の方がいい。

会長

夜だと施設そのものしか見れない状況となる。見たいか見たくないかということと何を見るかということでは、かなり違ってくる。

委員

実際問題、建築年が書かれているが学校関係でない方には、実際にどういう状況であるのかということ見ていただいた方が施設もいろいろな部分があるし、わかっていただけたらと思う。

会長

施設を見るべきということか。

委員

中身を見ていただくということであれば、ビデオで撮ったり、映像的なもので見るとかで対応できると思う。

会長

実際のところ仕事がある人が多数なため、調整しても日中に全員が出席することは難しいというのが現実だと思う。希望者だけ行くという手もあるし、2～3日日にちを設けて行ける時に行くという可能性もあると思う。映像で見る、写真で確認するというやり方が施設を見るということでは可能かと思う。時間のない中で、半年でいろいろ決めていくというか、見ていくというか確認する必要があるので、見るか見ないか決めるというより、どういうふうに進めていくか考えなければいけないということで積極的な意見をお願いします。

委員

見学をする目的が施設を見るのか学校の様子をみるのか。それが定まらない中で一番初めに見学をもってきても仕方がない。議論をしていって、こういうところがわからないから見たいというふうに持って行った方がいいのではないか。実際に見ろと言われても見るだけで終わってしまう。

会長

10月に施設見学するのは難しいと思う。施設見学ありきでなく、見ること自体が目的ではないので、必要に応じて見学が発生すればするし、そうでなければもっと違う方向から学校問題を考えていくのであれば、必要に応じておいおい見学が入ってくるという可能性もある。

委員

審議会の目的は中学生がどのような形をとっていくことがこれから先々いいのかということであるので、中学生の実態を見ないと、これからの話が出にくいのではないか。第1回目は昼間、中学生の生活、授業参観をして、施設も併せて見るというふうにした方がいいのではないか。

委員

時間が許すのであれば、施設をどうするのかではなく、子ども達のこれからどうしていくのかであるので、施設を見ながら子ども達の様子をみるのか、手がかりがあって、そのためにこれから子ども達をどうしていくのかであるので、子ども達の様子を見ていただくのが一番ではないかと思う。

委員

こども達の現状を理解するために見るのであれば、たかが午前中2～3時間で3校回ってというだけでは、わからないと思う。そろそろ大人が行ってみて、この子供たちは何に困っているのだろう、どうしたらいいのだろうということが分かるとは思えない。10月の時点でやろうとすると何を見ていいのかわからない。施設の老朽化は映像・写真で把握できると思うが、こども達の現状をたかが半日、1校1時間くらいで回って見てもこども達の困っていることなどは私には理解ができない。

会長

例えば参観日に学校に行って大人が沢山いる中で、親がこどもを確認できているかということもあるし、外部の人が入ってくるということは通常の姿ではない。様々な意見が出ていて、早めに見ることが必要だという意見もありました。でも、今見たところで何も目的意識が持てないという意見がありました。もう少し意見をいただきたい。

委員

見たいという気持ちがある。現状では部活動が希望している部活に入れたい。この学校にはあるけど、この学校にはない、人数が多ければ部活を選ぶことも出来るし、どのくらいの規模があって、どのくらいの施設があればというところが気になるころではある。確かに建物を見に行くというのであれば、短い時間で午前中だけということになると、ほんとにただ行って帰ってくるだけ。何をしてきたのか記憶にも残らないと思う。これから議論をしていくうえで、何のために見学に行くのかということをも明確に決めてから見学に行けば、議論に役立っていくのではないと思う。

委員

建物を見に行く、何か問題点があればそこを集中して見る。全体的に見るだけでは、ただ行ってということになるので何もならない。問題点を先に起こして重点的に見るというのが一番いいと思う。教育のことはよくわからないが、生徒が十分にできる環境を作ってあげるのがいいかと思う。

会長

今のところは、私達が場数を踏んでから、ここでの議論を重ねてから目的意識を持って行った方がいいのではないかと考える。行かない方がいいという意見は今のところありません。何の目的で行くかということに今のところなっているのではないかと思う。全体的にはもう少し目的意識を明確にしてから行くべきではないかということになっている。

委員

施設を見に行くだけであるのならば必要はない。諮問ではこどもの教育環境ということですし、さきほど会長がこどもありき、こどもが主体ということでしたので、こどもがいない学校を見にいったらということも前提でまず申し上げたい。何回か議論して、そこで問題点を精査してから見に行くことにすれば、確かにその問題点に沿った見学となることができると思う。その前に議論の材料が何か。私達は事務局が提供してくれる情報を議論するしかないので、実際に私達が委員として直接的に目で見て肌で感じて、こども達がどのような環境で授業をしているのか、伊豆市の中でも中学校によりまちまちなのでクラスが30人、40人近い教室はどうか、あるいは20人位の教室はどうかを検討してから、事務局から情報を提供していただいてから精査していくということが必要。私たちが中学校の現状を知らない状況はどうか。

委員

教育環境のあり方を判断するのに、こども主体でいかないといけないと思う。資料に関しては保護者の意見が中心になってできてくるので、こども達はどのように思っているのかアンケートをとって、話し合いのときの参考となればと思う。ただ学校に行ってみて様子を見てみるだけより、より深い話し合いができるのではないかな。

会長

主役はこどもだと思っていて、私がこの委員をやるときに建物のことは何も考えていなかった。それよりもこどもたちがどういう生活をするのが望ましいか、どういう学習環境であることが望ましいか、建物より環境が、人間関係のケアをすごく考えていました。私の専門分野が保育の中の人間関係なので、こどもが育つ人間関係を考えていた。私自身、教育委員会で仕事をしていた時に学校を回っていたので、知っていて当然の部分もあったが、ここで何かテーマを決めてとか、見るべき視点を決めてという意見をいただいたのですが、例えば3校同じ学年、同じ科目を見るとか決めて見ると比較ができるかなと思う。同じ時間の部活の状況を見るとか同じ〇〇部を見るとかそのような決め事をして見るのもありかなと思う。見る側の視点としてはそのような見方もあるのかなと思う。主要科目でもいいし、実技科目でもいいし、先生が誰がそこに入るのかとか、どういう教育をやっているのかとか、こども達がどれだけの支援を受けているのか見るのが学習に対する見方、建物関係については、素人でも分かるので、見たい方が見るのもいいのかなと思う。授業を見たい方、部活を見たい方、通学を見た方など、パターンを決めての見学もありかなと思う。

[生徒、保護者、先生からの意見聴取について]

委員

実際これから新しい中学校ができる。主役は子ども達なので、実際に行っている子ども達との意見交換とか、何が必要だとか、こういう環境があれば良いとか、そういう意見交換の場を設けたらいいのではないかな。

大人だけで決めてしまっただけでは、「やりました、やっぱり無駄でした」ということになるかもしれない。現場でやっている先生や生徒、保護者の意見を聞くことも必要なのではないかなと思う。

会長

生徒との意見交換とか、アンケートをとるとか、生徒会の人に来てもらうとかはどうか。

事務局

私たちが学校に出向いてであれば、可能であると思う。

会長

直接ではなくても紙面で意見をいただくとか、卒業生に聞くのもいいのではないかな。高校生であったり、成人に近い子どもたちにきくのも可能であるかもしれない。現状中学生は、中学生にしかわからないが、今の中学生は、あるがままに過ごしてしまうということがあるのかもしれないということがあるので、果たしてどれだけの効果があるか。可能であれば、いろいろな意見、当事者の意見を吸い上げる場があればいいので検討してもらいたい。10月に見学をするかしないか。するのであれば今から目的を決めなければいけない。

委員

仕事を持っていることで、委員として一生懸命やりたいのだけれど時間的に無理という人もいますので、目的意識も必要だが、こどものことを一番先に考えようということで、それを一番考えなくてはいけないので、それを考えてほしいかな。最初どこからはじめるのか。これはいいという事からはじめるのか、ききちんと決めた方が良さそう。

会長

要するに第2回目のスケジュールの②課題の整理と対策を先に持ってくるということになる。必要に応じてその後に見学が第3回目とかに入ってくると、もう少し検討できるかなと思う。

委員

見学は運動会などの行事でもできるので、学校に言ってもらえれば可能だと思う。参観日、放課後なども含めて考えてもらってもいいのではないかな。

会長

先ほども言ったが大人が大勢で押しかけても、こどもの本当の姿をみることができないと思う。仕事で学校に行っていた時には、かなりじっくりとこども達をみれたので、教育委員会を通しての見学というパターンも考えつつ、実際に行くのかどうかは第2回目に決めたいと思う。第2回は見学ではなくて、夜間、全委員が揃う時間に開催し、課題を整理していくということで決めていきたいと思う。

(3) 教育環境の改善に向けて（自由発言・意見交換）

会長

請願書に地域の宝でもあるこどものたちのためにということからお願いいただいたということがあるので、随分意見をいただいているが、教育の改善に向けての意見がありましたらご発言願いたい。

委員

こどもが中学2年で中伊豆中学校へ通っている。部活はソフトボール部。ソフトボール部は2年生が2人。今年の中体連で抜けた3年生が7人いて、ぎりぎりの人数でチームがやっとできていた。3年生が抜け部活の存続の危機になったが、1年生が11人入ってくれて良かったと思ったが、その分他の部活の人数が少ない。そのような部活の危機が中伊豆中では起こっている。天城中も同じだと思う。部活の選択ができない。自分のこどもは音楽が好きで、絵を描いたりするのも好きでどちらかという文化系だが、部活に選択肢がないので、今は一生懸命やっているが1年生で部活を決めるときに消去形で決めた。修善寺は人数がいるのでいいが、中伊豆、天城は本当にやりたいことができてるかということではなく、選択の幅が少ないと思う。

会長

もう少し人数の多い環境を求めるということですね。

委員

伊豆市の中学校状況を知ることがまず何よりも大事。そういう意味では分からないことは分からないと、この協議の中できちんと出していくことが必要。こどもが主役ということは大前提であるし、伊豆市のこども達にとってどのような教育環境が必要か考えていくことが役目である。先生達にとって仕事の環境がどうかということも考えていく必要がある。やはりこどもと学校で直接かかわっているのは先生方なので、先生方がこどもと向き合う時間をきちんと取れているかどうか、きちんと指導ができるかどうかということも中学校の運営を考える上で必要。学校は地域のコミュニティーの拠点でもあるので、地域の方の声もたく

さん出していただけると良い。こどもを主役に、先生方、地域の方にとってどう
いうあり方が望ましいのかを議論できたら良いと思う。

委員

議会の反対意見の検証が必要ではないか。簡単なことでいうと「風当りが強い」
とかあるが、年間吹いているわけではない。すぐ近くの修善寺南小学校に勤務し
たが、風は時期的なもので年中吹いているわけではない。小中一貫校の問題もあ
りましたが、小中一貫校では先生達の体制が難しいと感じる。伊豆の国市で校長
をやっていたときに先生達が異動の希望を出す時に、自分の行きたい小学校にし
か出さなかった。「中学校に行ってみないか」というと嫌と言う。逆に中学校の先
生に小学校に行って、中学みたいにやるように言うと言嫌という。中学校の先生は
自分が免許状を持っている教科しか教えることができない。また、市民団体が今
ここで学校を全部まとめなくても、後から考え直してもこれだけの金額で出来
ると数字を出しているが、それは本当なのかどうか。「審議会の条例の中で審議会は、
必要があると認めるときは、委員でない者の説明又は意見を聴くことができる」
とあるので、本当のところはどうなのかきちんと検証してもらいたい。

本当のところを知ったうえで議論をしていかないと、これから先学校の形をど
うしていこうかという議論はできないと思う。全部一緒にしましようとか、今の
まま使って行きましようとか、建て替えましようとか、いろいろと方向性はある
と思うが、反対の意見で出された内容を検証した上で話し合わないと、どれだけ
議論をしても「それは出来ません」と否定されて終わるような気がする。

出来ることであれば市の関係者が調べてくれるとありがたい。

会長

それをやっていたら月日が経って行ってしまう気がするが、審議になった物のデ
ータや資料を貰うことは不可能ではないと思う。考える材料の一つにはなってく
ると思う。学校経営書を見て先生方の分掌を見たときに何度も同じ先生の名前が
登場していて、普通の会社であれば有り得ないと思うくらいに色々な仕事をや
っているのが学校現場なのだとよくわかった。先生方のことも考えるというのは、
直接こどもの学びにつながることなので、それも含めて考えていくべきなのかと
思った。地域については、学校があるから地域があるという意見もあると思うが、
私は地域が地域を作っていると思うので、その中に学校があることがたまたま
思えるくらい地域の力が強ければいいのではないかと思う。昨今の成人式では中
学校のクラスで番号順に並ぶときいている。そのくらい中学校はこども達が帰っ
てくる時のベースとなっている。それを楽しみにしているという話もきいている。
中学校というのは地域の中でどういう役割を果たすべきなのかということ学習

指導要領に載っているわけではないが、地域がつくっていかねばいけないのではないかと思った。それらを含めてこれからの議論の中でやっていけたらと思う。

(4) その他 第2回開催日について

第2回の開催は、10月11日（水）19時30分から別館会議室に決定

8 閉会 午後9時5分